

書名：**経済大陸アフリカ**

著者：**平野克己**

出版社：中央公論新社

出版年月：2013年1月

総ページ数：286ページ

ISBN：9784121021991



推薦者

小澤大成

鳴門教育大学大学院教授

国際教育コース

アフリカというと遠い存在のように感じられるかもしれませんが。鳴門教育大学は、国際協力機構（JICA）の短期研修・長期研修（修士課程）、教員研修留学生などで海外からの教育指導者や教員を受け入れていて、その多くをサブサハラアフリカ諸国から来られた方が占めていて、皆さんもキャンパスの中で多くのアフリカ人を見かけているはずです。

さて皆さんの持っているアフリカに関するイメージはどのようなもののでしょうか。「野生動物の楽園」でしょうか。「鉱産物資源に恵まれた国」でしょうか。あるいは「旱魃や豪雨などの異常気象」に苦しみ、「マラリヤや HIV/AIDS 感染症が蔓延」していて、「国内での民族間紛争」が頻繁におこり、「援助を必要とする」国々でしょうか。

平野克己著「経済大陸アフリカ」は、そのような旧来のイメージとは異なる、急速に経済成長するアフリカを描き出しています。グローバルな視界の広がりの中での様々な課題という観点からアフリカを見ているところが特徴です。逆にアフリカという鏡に映し出される描像から現代世界についても読み解いています。そして援助を受ける国から双方が利益を得る自立したパートナーに変わりつつあるアフリカと日本がどのように向き合っていけばよいのか示唆をあたえています。

「中国の製品流入はアフリカの製造業を破壊しているのか」（第1章）「GDP統計における経済成長貢献度からみたサブサハラアフリカの経済成長の要因」（第2章）「サブサハラアフリカと東アジアの製造業平均賃金はどちらが高いか」（第3章）など意外な実像が明らかになります。

これから皆さんが学校で教えるこどもたちがアフリカを舞台にビジネスで活躍する日も遠くないかもしれません。グローバル化した社会に興味のある方にお勧めします。

